

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	甲州市塩山牛奥	地区名	日川 (ヒカワ)	事業主体	山 梨 県
-----	--------------------	------	---------	-----	----------	------	-------

(1) 事業の概要

①課題・背景
 日川は、流域面積A=74.16km²の土石流危険渓流である。渓床勾配は1/23と急峻で、流域内には山腹崩壊や渓岸浸食が進行し、渓床には不安定土砂、転石が堆積しているため、台風や集中豪雨時には、土石流発生の危険性が高まっている。砂防施設が整備されているものの土砂整備率が低く、保全対象には、人家2002戸、国道20号（第1次緊急輸送道路）、国道411号（第1次緊急輸送道路）、小学校・高校・保育園・老人ホーム等が存在し、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

②整備目標・効果
 □主要目標 ○土石流被害の防止
 ・災害実績 有※
 ・土砂整備率 65.3% < 70%未満※
 ・重要公共施設の有無 有 第1次緊急輸送道路（国道20号、国道140号）、避難所（日川小学校、日川高校）
 （保全対象＝人家2002戸、要配慮者利用施設（風の子保育園、桃源荘）、避難所（日川小学校、日川高校）、郵便局（日川郵便局）、国道20号、国道411号等）
 ※評価基準値

□副次目標 —
 □副次効果 被災時の被害波及の防止（緊急輸送道路）

(2) 整備内容

①整備内容 砂防堰堤 1基 H=13.0m L=77.0m
 ②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度
 ④総事業費 約780百万円（国費390百万円(5/10)県費390百万円(5/10)）
 ⑤年度別の整備内容 (事業費)
 令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 40百万円
 令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20百万円
 令和9～16年度 砂防堰堤工事 720百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
 嵯峨塩2号堰堤 S47～S48 日川第3号堰堤 S49～S51 C=1.6億円
 嵯峨塩1号堰堤（改築） H19～H25 C=5.0億円
 嵯峨塩2号堰堤（改築） H27～R3 C=6.5億円 ほか9基

(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 妥当 妥当でない

②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 妥当 妥当でない

③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	780 百万円	工期	R7～R16	基準年	R6
経済効率性	費用	619 百万円	便益	8,371 百万円	
	建設費	617 百万円	一般資産被害抑止	2,353 百万円	
	維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑止	415 百万円	
			人身被害抑止	438 百万円	
			その他※	5,165 百万円	
B/C			13.5		

※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失)
 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない
 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である

⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない
 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する

⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない
 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている

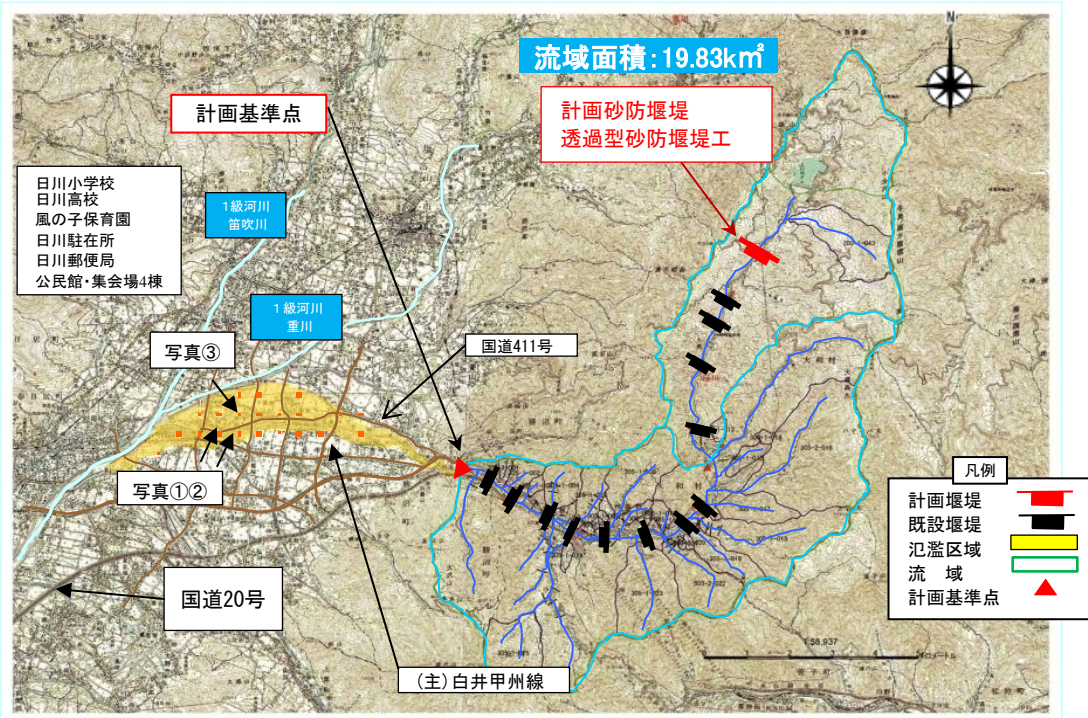
総合評価 [貢献度ランク：a]

(4) 事業位置図等

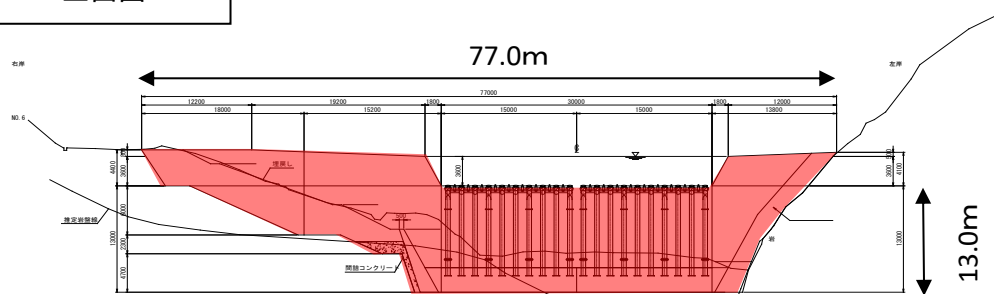


2. 添付資料シート

流域概要図



正面図



①保全対象 保育園(風の子保育園)



②保全対象 小学校(日川小学校)



③老人ホーム (桃源荘)

